

# 「新規制基準」を テコにした再稼働推進 NO

## 福島原発事故は 収束していない

福島第一原発事故から2年4ヵ月たつてなお、原因究明もできていません。現在、放射能汚染水の流入・発生がつづいており、解決の見通しもたないまま深刻な状況が進行しています。福島第一原発事故は「収束」していないのです。

福島ではいまだに15万人以上が避難生活を余儀なくされています。政府と東京電力は、「収束宣言」を撤回し、被災者の要求にそって損害賠償、復旧・復興を進めるべきです。

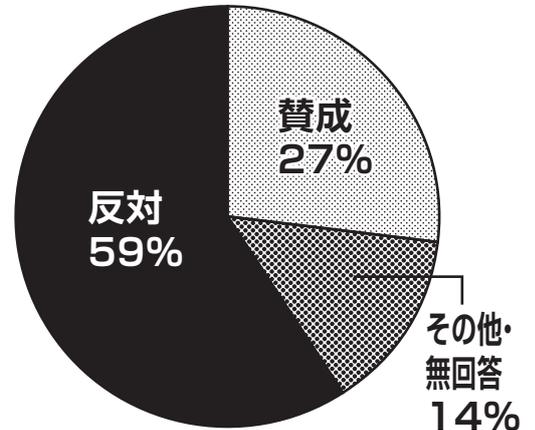
## 再稼働ありきの 「新規制基準」NO

政府は、原子力規制委員会の「新規制基準」施行を決定しました。「新規制基準」では、炉心熔融を伴うような重大事故への対策を義務付けていますが、福島第一原発事故の教訓を踏まえた内容になっていません。そのうえ、「第2制御室」や「フィルター付きベント」設備の設置（加圧水型軽水炉）などは5年の猶予が設けられています。国民の安全より再稼働を進めるための「新規制基準」であることは明らかです。

# 原発ゼロの決断を行え

## 国民世論を尊重し

原発を積極的に利用する  
安倍政権方針に



2013年6月  
朝日新聞定例世論調査

原発の再稼働に対する  
各党の態度

容認	自民、公明、民主、維新、みんな
反対	共産、社民、生活

## 国民の声は引き続き 「再稼働NO」

政府は先の「成長戦略」で「原発の活用」と再稼働を進めることを明記し、「新規制基準」をテコに再稼働を推進しようとしています。この間のどの世論調査をみても、原発ゼロ、再稼働反対は圧倒的に過半数を超えています。

6.2 NO NUKES DAYには、原発ゼロの日本の実現を求める人々が、全国から8万5千人参加し、大きく成功しました。あらゆる方法で再稼働NOの意志を示しましょう。